



特集

スポーツ産業の創出 で強い沖縄経済の 構築を目指そう!!

～「沖縄スポーツ産業クラスター」の形成に向けて～

沖縄総合事務局は、明日の沖縄経済を支える「スポーツ産業」の創出を目指す取組をスタートしました。スポーツが持つ多様な力と沖縄が持つ地域力を融合させ、沖縄がアジアゲートウェイとしてその一翼を担うための先行的な取組としていきます。

はじめに

沖縄はスポーツキャンプのメッカとして国内に広く知られ、県民のスポーツに関する感心も高く、アスリートの県内移住やスポーツベンチャー起業などスポーツビジネスが胎動しつつあります。

スポーツ産業は、今後の沖縄経済を牽引する可能性を秘めています。

背景

スポーツを通じた地域経済産業の活性化への期待が高まりつつあること、スポーツが、ものづくり、医療、健康、観光といった産業の総合性、波及性が高い産業であること、2020年の東京オリンピック、パラリンピック競技大会の開催を控え、国内外のスポーツに関する注目が高まることを踏まえ、今、まさにスポーツを戦略産業として振興する絶好の機会が到来しています。

取り組み

スポーツ産業創出の取組の目標は、スポーツビジネスが次々に生まれる状況を創り出すことです。そのため三つの取り組みを始めます。

一つ目は、外部からヒト・モノ・カネ・情報・技術を呼び込むためのオープンな仕組みとそのシンボルとしてのイベント「SIS Okinawa (仮称。Sports Industry in South Islands Okinawa)」の開催に向けた調査事業を実施します。今年度は沖縄の特性を活かした持続発展可能な基本理念などを制度設計することとしています。

二つ目は、地域の企業、大学など研究機関、金融機関、医療機関、行政機関などの人的ネットワークを構築します。新しい商品、新しいサービス等の「スポーツ産業」という新しい産業が創出される「沖縄スポーツ産業クラスター」を形成します。推進する組織体として「沖縄

スポーツ産業クラスター推進協議会(仮称)」や沖縄スポーツ産業クラスター検討会議(アドバイザリーボード)を設置し、スポーツ産業創出に向けた現状分析、課題と今後の展開方策を提言します。また、スポーツ業界の知見・ネットワークを有するクラスターマネージャー3名を配置します。

三つ目は、スポーツ事業者シェールパ会合を不定期に開催します。

シェールパ会合は去る8月10日に開催しました。県内のスポーツビジネス事業者、金融機関、大学、行政機関など約100機関180名が参加し、スポーツによる地域振興、スポーツビジネスの事業内容や課題、これからの展望について発表され、大きな盛り上がりを見せました。

主催者挨拶では、沖縄総合事務局・寺家克昌経済産業部長から「スポーツ産業がものづくりや医療、健康、観光などの産業と融合することで、市場拡大と地域経済の活性化が期待できる。2020年には東京オリンピックが開催され、スポーツを戦略産業に発展させる絶好の機会である」ことが、また経済産業省商務情報政策局サービス産業室・藤井法夫室長からは「日本のスポーツ産業の対GDP比率は、世界のスポーツ産業の対

GDP比率に比べて小さい。逆を言えばまだまだ成長可能な産業である」とのお話があり、政府を挙げてスポーツの成長産業化に向けた取組を推進していることが発表されました。

沖縄総合事務局は、このような取組を引き続き効果的に推進するため、今年度から部局横断的な取組「沖縄スポーツ産業創出チーム」をスタートさせました(図1参照)。

結び
 スポーツ産業は、一次から三次産業までの幅広い産業が融合する総合性、波及性(図2参照)を有しており、地政学的にアジアゲートウェイに位置し、温暖な気候や様々な地域資源を有する沖縄の特性を活かすことで、沖縄らしい産業の創出が期待されます。スポーツを通して、沖縄が県内外の健康寿命の延伸や子どもたちの夢の実現、心身の発育に貢献することもできます。沖縄総合事務局は、今後、沖縄県を始め様々な主体と連携して次世代の戦略的産業となるよう「沖縄スポーツ産業クラスター」の形成に向け取り組んでまいります。

図1 平成28年度沖縄スポーツ産業クラスター推進に向けた体制図(案)

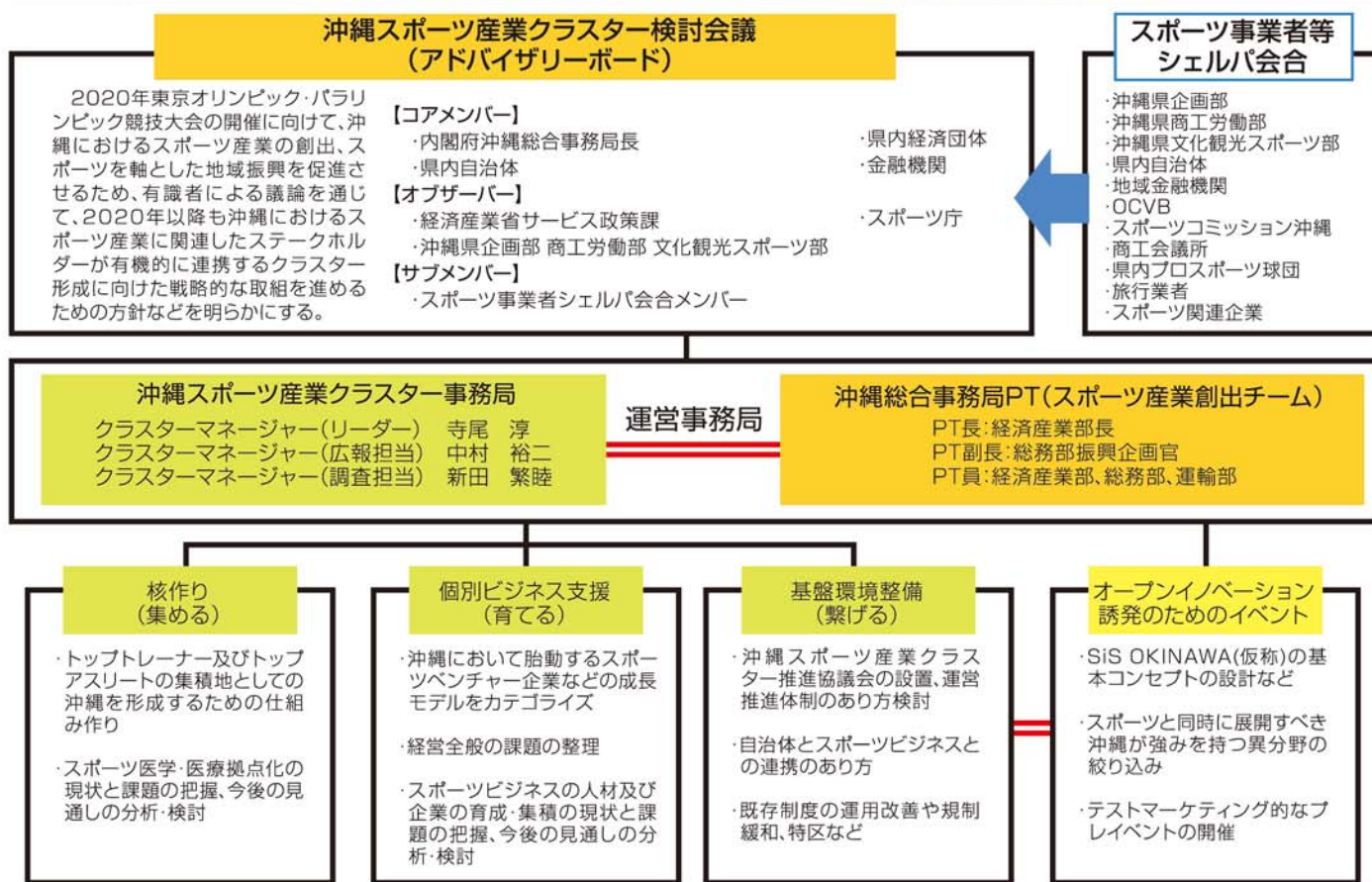
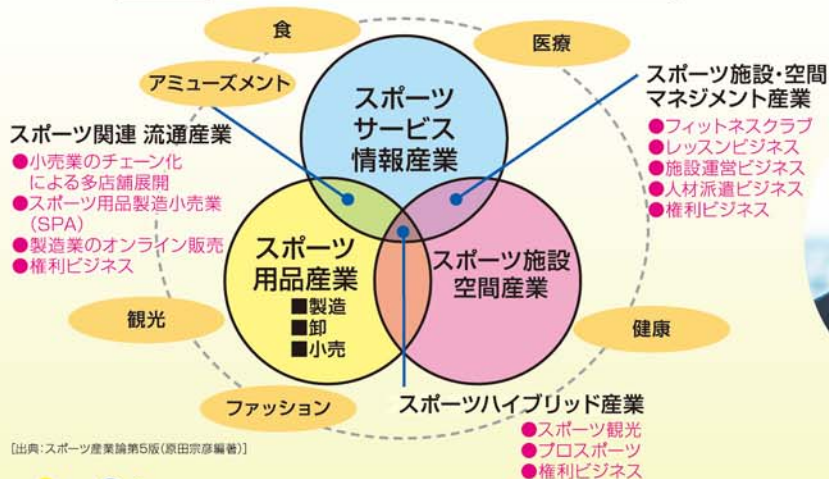


図2 (参考)スポーツ関連産業の融合化



クラスターマネージャーの皆様



寺尾淳さん



中村裕二さん



新田繁睦さん

[出典:スポーツ産業論第5版(原田宗彦編著)]